

## 炊き出しはおにぎり、パンではなく、家庭料理、汁物が喜ばれた

第二福田小学校体育館

西日本豪雨ボランティア  
2018年7月8日〜13日

2018年7月6日深夜、1時半には、西日本に豪雨が容赦なくたたきつけるように襲いました。気象衛星による予知・予測、統計上の判断も未然に大規模な被害になすべがありませんでした。

岡山県倉敷市真備町だけで51人が亡くなりました。ほとんどが水死とみられます。国土地理院の推定によると、浸水の深さは広い範囲において3〜4メートルとなり、最大で4・8メートルに達したとみられます。

自然災害は人災

2018年7月22日(日)宮城県石巻市渡波海岸で7年ぶりに海開きがありました。大國龍笙、宮司がシーズン中の繁盛と安全を祈願しました。3・11の津波は4メートルの防潮堤を破壊して、渡波中学校の3階にまで被害を及ぼしました。海岸から4キロ離れた新千刈の2階建て家屋は全壊となりました。住人は全速力で「てんでんこ」に逃げました。2011年3月21日、渡波小学校の3階に避難した人々の恐怖体験を耳にしました。

同じ波の高さが倉敷市真備町を覆いました。相違点は、津波は轟音をたてながら、家屋、船建造物をなぎ倒しながらすべて、ものを呑み込んでいきます。一方、小田川、高馬川、高梁川などの堤防が増水のため決壊し、平地の真備町をなめつくしてしまいました。真備では、自治体の情報十分伝わらなかったまま、2階に上がれなかった人々の溺死が死者の9割に上りました。真備町の住民も「助けてくれ！」と叫んでおられました。神戸国際交縁機構は報道を聞

くやいなや、いつものように炊き出しの初動の取り組みを始めます。岡山市東区西平島から月に一度、神戸に來られていた福田建夫・京子夫妻と7月7日、電話での連絡が取れませんでした。後日わかったことですが、砂川が決壊して床上浸水しておられたのです。

岡山県倉敷市の行政の依頼を得て、食材を購入します。指定された倉敷市立第二福田小学校には296名の避難者がいるとの情報を得て、毎回300食を日に3度、一週間分を用意しました。

7月8日午後神戸を出発しました。



『クリスチャンプレス』  
(2018年7月18日付)

避難していた水川忠一さん（77歳）は、7日未明1時半に田んぼが気になり、見に行ったところ、小田川から逆流した水が水田を覆っていたから、2時半の避難指示にすぐに従ったと、言われていました。屋根上で「いんどらん」（帰っていない）人々の約450人は消防士のゴムボートで救出されたと言われました。

7年前に脳梗塞で歩きにぐくなくなつた妹尾春子さん（76歳）は2階へ逃げるしかなかったそうです。2階の天井にまで水が覆ってきたので、息子の齊さんは、バスタオルで屋根の上にお母さんを引き上げて、母の1命をとりとめたと語っておられました。

11日の昼食提供には本田寿久事務局長も第五福田小学校に、アニース・アハマド・ナディーム「日本アハマディア・ムスリム協会」本部長たちも9日に応援にかけつけてくださいました。第五福田小学校は、機構の

支縁者である岡本卓也元教師のご配慮によって、プロパンなどを移動して炊き出しをさせていただきました。

る人災

『クリスチャントゥデイ』  
(2018年7月9日付)

広島・安佐区については、2014年8月に、土砂災害により死者77人を出しました。住民が今回も避難しなかった最大の理由をマスコミは取りあげようとしません。広島市安芸区矢野東7の梅河団地（約1000世帯）では十数棟が倒壊しました。10人が安否不明になっています。団地の山側には、今年に入って砂防ダムが完成したばかりなのに、大雨で崩壊しました。

今こそ「田・山・湾の復活」を！  
“Resurrection of Rice Field,  
Mountain, and Bay”



『キリスト新聞』  
(2018年7月21日付)

第2次 西日本豪雨ボランティア  
7月24日～25日 ドロ出し  
第3次  
8月2日 東遊園地（神戸市役所  
隣）の路上生活者も参加

 **ヤマザキ**

**世界のパン  
ヤマザキ**

 Otsuka  
株式会社 大塚製薬工場

---

〒772-8601  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115  
TEL 088-685-1151 (代表)

**MiYOSHI**  
ミヨシ石鹼株式会社  
〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**

---

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13  
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

# 福岡県朝倉市杷木松末は忘れ去られています

熊本支部 大島 健二郎

熊本・大分地震（2016年4月14日、16日）の翌年2017年7月6日、松末・小内河内の小川組合長夫婦も豪雨により流されました。1年が経とうとしますが、災害危険区域のため、住居の再建、生活の営みの農林業も見棄てられたままです。

福岡県朝倉市杷木松末の乙石川流域の中村地区。樋口喜寿江さん（76歳）の生家は何が残っていません。手前の基部の井出和子さん（60歳）は流されました。中村地区には30戸居住していましたが、「もう

うだれもおんなさらん」と言われました。

小島重美さん（69歳）は杷木谷に住んでおられました。杷木谷の集落は30戸ほどでした。残ったのは2、3軒だそうです。以前は建築の左官の仕事をされておられました。今年1月咽頭癌から回復したものの、突然起こった土砂崩れに遭遇されました。2階におられましたが、奥さまの

初子さんは1階でペットの世話をしておられました。

捨て犬を飼っておられたのです。すると警報もなく心の準備ができていない中、奥さまは濁流に吞まれ、1キロ先まで流されたとのこと。

白木谷の道路は1年経っても、車一台が通るのが



一年後の乙石川の中村地区



松末コミュニティセンター

やっとでした。枝打ち、伐採をしない樹木が猛り狂って民家を襲いました。

松末コミュニティセンターの伊藤睦人会長が痛恨な思いを一時間にわたって吐露なさいました。

松末が生き残るひとつの選択肢が松末そばです。

右から4番目がそばの収穫にいそしむ林睦徳さん（52歳）が指導してくださいました。

機構の4人は、そばのボランティアに汗を流しました。唐箕など4種の操作を覚えさせられ、松末には「3人のそば栽培者がおらっしゃる」ので、復旧、復興、再建の糸口になることを祈ります。

松末270戸の集落を、消滅のカウントダウンに持ち込んでいいものでしょうか。

松末が復興できなければ、今後の日本のいかなる自然災害にも人間は無力であることをさらけ出すことになるだろうと確信しました。

初めて地球を一回りした日本人

石巻若宮丸物語 ③

阿部 和夫

プロフィール

1938年宮城県石巻市生。石巻小学校校長1999年退職。石巻市教育委員会教育長（1999～2008）。

イルクーツクでの生活

漂流民の一行は、ロシアに帰化しても日本語を話せる信蔵や庄蔵と巡りあえ、自分たちの遭難の経緯を正確にロシア側に伝えられるというよさがありました。しかし、ニコライ信蔵の様子や周囲の状況から、日本に帰るよりこの地で日本語学校の教師になって暮らした方がよいのではないかと考えるようになった人も出てきました。

オホーツクからイルクーツクに移動する際、最初のグループとなった三人の内、善六と辰蔵がロシア正教に改宗してしまいました。その為、もう一人の儀兵衛とは別れて暮らすようになっていました。

後からイルクーツクに到着した漂流民は、善六と辰蔵が改宗してロシア人になっていたことに、どんなにか驚いたことでしょう。

これまで苦勞しながらも協力し合ってきた漂流民でしたが、その後イルクーツクで暮らしている内に洗礼を受け、帰国を断念してロシア人となったグループは四人に増え、そうすること拒否する十人との二つのグループに分かれて対立するようになりました。

漂流民に対して役所から生活費は支給されていません。日本語学校の教師となった善六には手当もあり、改宗したグループは、そうでない漂流民より良い暮らしが出来ました。

彼等は無為に日を送っていたわけではありません。道普請の工夫として働いたりしていますが、津太夫は網を作りました。それを使ってバイカル湖で漁をして、獲った魚は干物や塩漬けとして保存食にしました。それだけではなく大漁の時には、イルクーツクの魚屋に卸すようになりました。さらに、自分達の為に造った「どぶろく」をやがて販売するようにまでなっていたのです。

最も成功したのは、儀兵衛の金貸しと小間物の行商でした。若宮丸で賄い（事務長）をしていた彼は、交易をする大店に荷物の出入れを手伝っているうちに、その主人に信頼され高額のお金を八分の利息で借りることが出来、これを元手に金貸しを始めました。漂流民仲間の器用な人が、指輪や耳飾りを創りました。細工が江戸風で珍しいためかロシア女性に人気がありました。

しかし彼等に辛い事も待ち受けていました。謝罪付記（以下次号）

31年ぶり、ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』

—2018年12月発行へ—

礼拝にふさわしい聖書を目指して  
www.bible.or.jp  
日本聖書協会



ゴーフル®



いいものは時代をこえて生き続けます

創業明治30年 おかげさまで創業120年

神戸月堂

URL http://www.kobe-fugetsudo.co.jp



「ヒューマニティファスト」

日本アハマディア・ムスリム協会



近畿産業信用組合

協合コールセンター

0120-111-019



## 第85次東北ボランティア

園児たちの楽しい田んぼ教室 村上 裕隆

神戸国際支縁機構は渡波の根岸で、今年も7回目になる田植え。長浜幼稚園（後藤竜記園長）の園児たちは快晴の中、裸足になってトロトロ層づくりに歓声をあげました。やわらかい園児たちの足で走ったりして、イトミミズがつくる働きを促進しました。おいしい米づくりには欠かせない作業です。苗は大崎市で無農薬、有機栽培のヒトメボレを購入。

天空高く神戸の小学生たちがメッセージを書き込んだ10メートルの鯉のぼりが舞っています。

岩村会長は「鯉の滝登りで知られるように、コイは力が強く、勇気があり、我慢強い」と手話で動作を園児たちに教えました。それからみんな一斉に田んぼでどろんこになりました。4月に6歳になったばかりの津田愛龍夢さんは、「かえるやおたまじゃくしがいるところをだれよりも早く走れて、うれしかった」と得意そうに語りました。



続いて、田植えのため30センチ間隔で、張った紐の目印に合わせて、順番に苗を植え込んでいきます。

9月には稲刈り、10月に脱穀、天日干し、11月に「田・山・湾の復活」収穫祭を園児たちは楽しみにしています。

田植えは重労働で、農耕機械が普及する前は「嫁殺し」と言われるほど、農家に嫁ぐ女性はいませんでした。機構は無農薬、有機を追求するあまり、機械、化学肥料を

使わないため、さながら江戸時代の「農法」です。だから農業とは言いません。反収を追求しません。機構の農法の指導者保田茂（兵庫農漁村社会研究所所長）先生から学んだ農法を忠実に実践しています。



鯉のぼりは神戸スイミープロジェクト「栗須哲秀代表」の協力

## 泥んこになり田植え

右●私立長浜幼稚園の年長児  
収穫を思い笑顔で作業



『石巻かほく』（2018年5月23日付）

石巻 日新 新聞  
2018年（平成30年）5月26日



泥の感触を楽しみながら田植えを行う園児たち

**トロトロ層でおいしくなれ！**  
長浜幼稚園 昔ながらの田植えを体験  
神戸支縁機構

石巻市さくら町にある長浜幼稚園（後藤竜記園長）の年長児たちが22日、根岸の水田で田植えを行いました。園児たちは裸足になり、トロトロ層づくりを楽しみました。園児たちは「おいしい米づくりには欠かせない作業です。苗は大崎市で無農薬、有機栽培のヒトメボレを購入。」と、先生から学んだ農法を忠実に実践しています。

『石巻日日新聞』（2018年5月26日付）



田んぼがはっぴ



一列に並んで田植えをする園児たち

**園児が「田植え」体験**  
長浜幼稚園 年長組  
「田植え」体験は、園児たちにとって初めての経験です。先生たちの指導のもと、裸足になり、トロトロ層づくりを楽しみました。園児たちは「おいしい米づくりには欠かせない作業です。苗は大崎市で無農薬、有機栽培のヒトメボレを購入。」と、先生から学んだ農法を忠実に実践しています。

「田植え」体験は、園児たちにとって初めての経験です。先生たちの指導のもと、裸足になり、トロトロ層づくりを楽しみました。園児たちは「おいしい米づくりには欠かせない作業です。苗は大崎市で無農薬、有機栽培のヒトメボレを購入。」と、先生から学んだ農法を忠実に実践しています。

『牡鹿新聞』（2018年5月25日付）



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田商会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話：0798-38-7560

FAX：0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1



## ベトナム水害ボランティア

「カヨ子基金」代表 岩村 義雄

第4次ベトナム・水害ボランティア  
2018年6月3日〜10日

「カヨ子基金」について式典がクアンビン省アントイ地区で催され、招かれました。

水害から2年を経ています。同行した2人の大学生は今や社会人です。テレビやラジオ局が待ち構えていました。日本の里親やみなさんの救済金を手渡す働きをしたにすぎません。

ん。しかし、孤児や米軍の枯れ葉作戦の後遺症で苦しむハンディキャップの子どもたちとの出会い

カヨ子基金を受け取っている  
右端ハンガさん、左端トランガさん

ユエンさん12歳。「カヨ子基金」で通学ができるようになりました。貧しいベトナム、ネパールの少女たちが生まれ故郷の村から日本に「売られて」いくことがないようにするのも神戸国際支縁機構の働きのひとつです。アメリカ国務省の発行する「人身取引年次報告書」や、国連から日本は何度も注意されてきました。しかし、日本軍「慰安婦」問題（人身売買ではなく、強制連行、レイプ）と

同様に、現代の「人身売買」の

アはとりあげることはありません。クアン・キムの山中にもど底の生活、廃品回収をしながら、子どもを育てておられる夫をなくした独身女性たちに出会いました。

2畳ぐらいの狭い部屋が2つ。40歳になる母親は網を巻き取る漁

によって生活の糧としています。お手洗いはなく、すべてが川を中心とした生活です。ダット君(13歳)

も「カヨ子基金」で応援させていただくことにした。

新たに3人のベトナムの孤児が「カヨ子基金」月3千円を全額受け取るようになりました。



左端 ダット君(13歳) 父親を病気でなくしたため、将来医師志望。

「カヨ子基金」セレモニー  
2018年6月5日 アントイ小学校にて

## 講座などの案内

## ●本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日 午前10時〜正午  
神戸市勤労会館 404号室

## ●聖書のことば

毎月最終月曜日 午後6時半〜8時  
ミント神戸17階 講師：岩村義雄

## (一社)神戸国際支縁機構

## ●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

## ●被災地への支縁物資もお願いします。

## ●年会費をお願いします。

会員(年度4月〜翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

## ●福岡県朝倉市杷木松末、および西日本豪雨への救援金もお願いします。

事務局長 本田 寿久

## 編集後記

結婚の祝福みなさんありがとうございます。  
東北ボランティアにおいて初代リーダーを務めさせていただきました私は2018年5月20日、旧姓山口三千恵さんと結婚式をあげることができました。親友のひとり田平夢宇夜君(たびら むうや 第23次2013年3月)岩手県大船渡訪問、長谷川千紗さん(第8次2011年11月)宮城県塩釜市寒風沢島(さぶさわじま)の農ボランティアたちも私たち夫婦の結婚式に来てくださいました。

恩師である岩村義雄理事長に司式をしていただき、「富める時も、貧しき時も、節操を誓いますか」と二度も講壇から言われ、緊張しながら、「ハイ」と厳粛に誓いました。その誓いは私たち夫婦にとって大切な原点になっています。東北で同じ釜のメンを食べた「ボランティア道」の先輩たち、仲間にもこれからも私たちを導いていただきますようお願い申し上げます。

事務局 山本智也

## 救援金、維持会費ご協力感谢您。(敬称略)

2018年4月22日〜7月21日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、河内常男、本田寿久、フローラ・チョン、神戸キリスト教書店(2)、松本裕之、垂水朝博、仙 浩二、尾島淳義、保田 茂、皆木祐介、石田朝子、白瀬小一郎、藤原加寿子、高橋一正、山本智也(2)、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、シャローム総合法律事務所、宮永亮史、安田吉三郎、北川禮子(宮城県石巻市)、酒井 彰、酒井久美子、松森正樹、井上真二、東灘バプテスマ教会、小笠原貞夫、三芳英教、山本真理子、森 一郎、千田豊穂(宮城県石巻市光蔵寺住職)、水沼幸三、中山圭子、住谷圭造、前 哲夫、保田 薫、坂牧弓絃、土手ゆき子、古本純一郎、古本佳世子、大國龍笙[伊去波夜和氣命神社宮司]、オリーブの木キリスト教会、阿部和夫(宮城県石巻市)、阿部斉子(宮城県石巻市)、湊 乃莉子、鍋島 隆、吉田徳夫、栗原 健、塩屋キリスト教会、中島信光、春重祺子、川端 勝、KISO 牧場、中山敬一郎、金 貴順、藤原秀浄(法専寺住職)、野崎和子、吉俣正光、菊池則子(2)、千葉幸一(宮城県石巻市)、萩本義郎、春名純人、春名美智子、樋口多恵子(宮城県石巻市)、坂牧弓絃、福井重男、大島 修、大島敏子、ブイ・ティ・オアン、中道澄春、さかいようこ、藤原りつ子、庄司慈明(宮城県石巻市)、西上千栄子、岡本毅一、日本聖書協会、「御同朋の社会をめざす運動」、河村紀子、忠内一由、忠内有紀、山野英雄(宮城県大崎市)、大田美智子、白瀬小一郎、大田正紀、熊野千秋、匿名

891,700円

## 西日本豪雨 7月7日〜21日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、久留留琴、後藤仁美、松浦和彦、松浦博子、忠内一由、忠内有紀、さかいようこ、高橋一正、上田和巳、金 貴順

323,000円

## カヨ子基金

白方誠彌、「みんなで考える“ヒューマン・ライツ”」、松本裕之、尾島淳義、仙 浩二、白瀬小一郎、藤原加寿子、東灘バプテスマ教会、三芳英教、高橋一正(2)、山本智也、坂牧弓絃、北川禮子(宮城県石巻市)、栗原 健、土手ゆき子、湊 乃莉子、春重祺子、阿部和夫(宮城県石巻市)、オリーブの木キリスト教会、金 貴順、藤原秀浄(法専寺住職)、樋口多恵子(宮城県石巻市)、千葉幸一(宮城県石巻市)、野崎和子、菊池則子(3)、神戸キリスト教書店、さかいようこ、西上千栄子、「御同朋の社会をめざす運動」、河村紀子、松浦和彦、松浦博子、熊野千秋、匿名

1,761,833円

フードバンク関西からの炊き出し用食材。(株)チュチュアンナ上田利昭社長から靴下贈呈。  
「耕支縁」(神戸市西区友清 自産自消「自分で作って、自分で食べる(消費する)」)2013年10月1日以降)の岸本 豊、村上裕隆、山本智也、山本 勝、上原俊基、河合敏行、河合年代の7人から無農薬、有機の野菜。岸本 豊氏からのエンドウ豆、上原俊基氏からキャベツ、岡部和香氏からのタマネギに感謝。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

●郵便振替 口座 00900-8-58077 加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

●三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず「国名」を書き添えてください。

「カヨ子基金」

●郵便振替

口座14340-96549731 加入者名 カヨ子基金

●みなと銀行

明舞支店(175) 普通 3921374 カヨ子基金

●三菱東京UFJ銀行

三宮支店(462) 普通 3422530 Kayoko Fund

●三井住友銀行

神戸営業部(500) 普通 9821847 カヨ子基金

●みずほ銀行

神戸支店(490) 普通 1817303 カヨ子基金